

公文類集第六十九編

昭和二十年

卷六

政綱門 六止  
地方自治  
朝鮮  
關東州  
雜載

国立公文書館	
分類	
配架番号	2 A
	13
	類 2890

閣内第二五七號

起 昭和三十年六月三日

閣議決定 昭和三十年六月三日 施行

昭和三十年六月三日 早外公布

内閣總理大臣

西

内閣書記官長

内閣書記官

外務大臣

西

海軍大臣

西

大東亞大臣

西

内務大臣

西

司法大臣

西

農商大臣

西

大藏大臣

西

文部大臣

西

軍需大臣

西

陸軍大臣

西

厚生大臣

西

運輸通信大臣

西

別紙

内閣告諭案



神州ハ 御稜威ノ下我等ノ祖先之ヲ保衛シ我等相俱ニ之ヲ護持シ永  
ク之ヲ子孫ニ繼承セシムベキノ地ニシテ未ダ嘗テ外夷ノ侵寇ヲ許サ  
ズ。焉ゾ之ヲ敵ノ蹂躪ニ委スルヲ得ンヤ。即チ吾等ハ 聖訓ニ恪遵  
シテ義勇公ニ奉ジ朝野相依リ隣保相扶ケ道義ヲ尚ビ節制ヲ重ンジ各  
其ノ職務ニ勵精シテ彌々士氣ヲ昂揚シ國家ノ精力ヲ擧ゲテ敵ヲ千里  
ノ外ニ攘フベキノミ。作戰ノ方途ハ既ニ定マリ、戦力充實ノ施策亦  
日ヲ遂ウテ進ム。而シテ國民義勇隊結成セラレテ國民ノ隊伍新ニ成  
ルアリ。政府ハ從來屢聲明シタル所信ニ從ヒ果斷邁進スベシ。  
本大臣ハ帝國存亡ノ關頭ニ立チ茲ニ全國民ニ對シ更ニテ實戰ノ大勸  
ニ示シ給ヘル 勸旨ヲ奉體シ死生一如ノ日本魂ニ徹シテ自奮自勵相

互信<sup>飛</sup>願<sup>飛</sup>愈加ハルベキ苦難ニ堪ヘ、進ンテ一切ノ行動ヲ戰勝ノ一途ニ  
集中シ奮ツテ國難ヲ打開センコトヲ要望ス。

昭和二十年六月二十六日

内閣總理大臣 男爵 鈴木 貞太郎

内閣書諭

皇軍陸海空一體ノ眞ニ感激スベキ善戰健闘ト官民不屈ノ協力敢闘トニ  
拘ラズ沖繩本島ノ守備遂ニ成ラズ。恐懼何物カ之ニ加ヘン。

然レドモ沖繩島<sup>本</sup>ニ於ケル作戰ニ依リ敵ニ與ヘタル損害ハ甚大ニシテ管  
ニ敵ノ作戰遂行ニ齟齬ヲ來サシメタルノミナラズ、其ノ精神上ニ與ヘ  
タル打撃ヲ思ヘバ我が今後ノ戰爭遂行ヲ有利ニ導キタルモノ誠ニ大ナ  
ルモノアリト謂フヲ得ベシ。

惟ツニ敵ノ空襲ハ自今愈々苛烈ナルベク新ナル本土侵寇亦豫期セザル  
ヲ得ズ。正ニ元寇以來ノ國難ニシテ帝國ノ存亡ヲ決スルノ秋ナリ。

神州ハ 御稜威ノ下我等ノ祖先之ヲ護持シ我等相俱ニ之ヲ保衛シテ永  
ク子孫ニ繼承セシムベキノ地ニシテ未ダ嘗テ外夷ノ侵寇ヲ許サズ。焉

内閣書案

陸軍陸海空一體ノ眞ニ感激スベキ善戰健闘ト官民不屈ノ協力敢闘トニ  
拘ラズ沖繩本島ノ守備遂ニ成ラズ。恐懼何物カ之ニ加ヘン。

然レドモ沖繩<sup>本</sup>島ニ於ケル作戰ニ依リ敵ニ與ヘタル損害ハ甚大ニシテ雷  
ニ敵ノ作戰遂行ニ齟齬ヲ來サシメタルノミナラズ、其ノ精神上ニ與ヘ  
タル打撃ヲ思ヘバ我が今後ノ戰爭遂行ヲ有利ニ導キタルモノ誠ニ大ナ  
ルモノアリト謂フヲ得ベシ。

惟ツニ敵ノ空襲ハ自今愈々苛烈ナルベク新ナル本土侵寇亦豫期セザル  
ヲ得ズ。正ニ元寇以來ノ國難ニシテ帝國ノ存亡ヲ決スルノ秋ナリ。

神州ハ 御稜威ノ下我等ノ祖先之ヲ護持シ我等相俱ニ之ヲ保衛シテ永  
ク子孫ニ繼承セシムベキノ地ニシテ未ダ嘗テ外夷ノ侵寇ヲ許サズ。焉





本大臣ハ茲ニ全國民議者ニ對シ帝國存亡ノ關頭ニ立チ更メテ宣戰ノ大  
詔ニ示シ給ヘル 聖旨ヲ聽シ<sup>奉</sup>死一如ノ日本魂ニ徹シテ自奮自勵相互  
信賴愈々加ハルベキ苦難ニ堪ヘ、進ンデ一切ノ行動ヲ戰勝ノ一途ニ集  
中シ<sup>誓</sup>テ國難ヲ打開セ<sup>望</sup>ンコトヲ要請ス。

昭和二十年六月十六日

內閣總理大臣 男爵 鈴木 貫太郎



第一卷  
内閣告諭案

皇軍陸海空一體ノ眞ニ感激スベキ善戰激闘ト官民不屈ノ協力敢闘ト  
ニ拘ラズ沖繩本島ノ守備遂ニ成ラズ。恐懼何物カ之ニ加ヘン。

沖繩島ニ於ケル作戰ニ依リ敵ニ與ヘタル損害ハ甚大ニシテ奮ニ敵ノ作  
戦ニ奮闘ヲ來サシメタルノミナラズ其ノ精神上ニ與ヘタル打撃ヲ思ヘ  
バ我が今後ノ戦争遂行ヲ有利ニ導キタルモノ誠ニ大ナルモノアリト謂  
フベシ。

然リト雖モ今ヤ敵ノ空襲ハ愈々苛烈ナルベク新ナル本土侵寇亦豫期セ  
ザルヲ得ズ。正ニ元寇以來ノ國難ニシテ帝國ノ存亡ヲ決スルノ秋ナリ。  
皇土ハ 御稜威ノ下我等祖先之ヲ護リ我等之ヲ保衛シテ子孫ニ引繼グ

無上ハ... 皇天ノ命ヲ受ケテ... 天下ヲ一統スルヲ以テ...

... 聖王ノ御宇ニシテ... 萬民ノ安寧ヲ...

内閣府 庶務課

ニキ神州ノ地ニシテ未タ嘗ツテ外敵ノ侵寇ヲ許サズ。焉ゾ之ヲ敵ノ蹂

躐ニ委スルヲ得シヤ。若シ此ノ志ニシテ違ハンカ我等何ヲ以テカ 聖

業ニ對ヘ奉リ又祖先ニ謝スルヲ得ン。唯一億悉ク劍ヲ執ツテ起チ決死

救國図體ヲ堅持シ皇土ヲ保衛シ以テ皇旗ヲ翼賛シ奉ルコトアルノミ。

即チ吾等ハ 聖訓ヲ恪守シテ義勇公ニ奉ジ朝野相依リ隣保相扶ケ紀

律ヲ尚ヒ節制ヲ重ジ各々其ノ職務ニ勵精シテ職ニ盡チ士氣ヲ昂揚シ國家ノ

雄力ヲ譽グテ敵ヲ千里ノ外ニ攘フベシ。既ニ作戰ノ方途定マルアリ。

戦力充實ノ方策亦進ミツツアリ。而シテ國民義勇隊ヲ結成セラレテ國

民ノ隊伍成ルアリ。政府ハ其ノ常ニ闡明スル所ノ所信ニ從ツテ果斷適

▲★ヘシ。



吾皇神武天皇ノ御業ヲ  
後ニ終中ノ一日々々大難難ニ逢ヒテ  
自爾降臨御座ルニ於テハ  
人々國ニ承クテ御業ヲ  
本大御ノ業ニ全ク御座ルニ  
御業ヲ承クテ御業ヲ

極秘

内閣告諭案

皇軍海陸空一體ノ眞ニ感激スベキ御業ニ拘ラズ沖繩本島ノ守備遂ニ  
成ラズ・恐懼何物カ之ニ加ヘンド沖繩島ニ於ケル作戰ニ依リ敵ニ與ヘ  
タル損害ハ甚大ニシテ敵ノ作戰準備ニ阻礙ヲ來サシメタルノ  
ミナラズ其ノ精神上ニ與ヘタル打撃ヲ思ヘバ勝利ト謂フ可キベシ  
然リト雖モ

今ヤ敵ノ空襲ハ愈々苛烈ナルベク新ナル本土侵寇亦豫期セザルヲ得  
ズ・正ニ元寇以來ノ國難ニシテ帝國ノ存亡ヲ決スルノ秋ナリ・皇土ハ  
御稜威ノ下我等祖先之ヲ護リ我等之ヲ保衛シテ子孫ニ引繼グベキ神  
州ノ地ニシテ未タ嘗ツテ外敵ノ侵寇ヲ許サズ・焉ゾ之ヲ敵ノ蹂躪ニ委

訂官長

善哉

協力

ト官民不心ノ故闘ト

且

我カ今後ノ戦争遂行ヲ有利

ト云クモ抑復亦ニ大ナリ

... (faded vertical text) ...

スルヲ得ンヤ、若シ此ノ志ニシテ遠ハンカ我等何ヲ以テカ 聖徳ニ對  
ヘ奉リ又祖先ニ謝スルヲ得ン。唯一徳悉ク劍ヲ執ツテ起チ決死敢闘  
將ヲ護持シ皇土ヲ保衛シ以テ皇護ヲ盡シ奉ルコトアルノミ。

御チ吾等ハ 聖訓ヲ恪守シテ義勇公ニ奉ジ朝野相依リ隣保相扶ケ  
自勵相互信賴 紀律ヲ尚ヒ節制ヲ重ジ各々其ノ職務ニ勵精シテ彌、士氣  
ヲ昂揚シ國家ノ總力ヲ擧ゲテ敵ヲ千里ノ外ニ<sup>ミツツアリ</sup> 獲<sup>フ</sup>ヘシ。既ニ作戰ノ  
方途定マルアリ。戦力充實ノ方策亦<sup>ミツツアリ</sup> 進<sup>ス</sup>ンヤ。而シテ國民義勇隊結成  
セラレテ國民ノ隊伍成ルアリ。政府ハ其ノ旨ニ闡明スル所ノ所信ニ從  
ツテ果斷邁進スヘシ。

本大臣ハ茲ニ全國國民諸君ニ謝シ帝國存亡ノ關鍵ニ際シ我ノチ 宣戰

大詔ニ示シ給ハリタル聖旨ヲ體シ生死一如ノ日本魂ニ徹シテ自奮自勵愈々加ハルベキ苦難ニ堪ヘ進ンデ一切ノ行動ヲ戰鬪ニ集中シ一日ヲシテ數日ニ値セシメ以テ國難打開ノ功臣タルノ光榮ヲ保持セラレムコトヲ要請ス。

大詔ニ示シ給ハリタル聖旨ヲ體シ生死一如ノ日本魂ニ徹シテ自奮自勵愈々加ハルベキ苦難ニ堪ヘ進ンデ一切ノ行動ヲ戰鬪ニ集中シ一日ヲシテ數日ニ値セシメ以テ國難打開ノ功臣タルノ光榮ヲ保持セラレムコトヲ要請ス。

原紙多

大詔ニ示シ給ハリタル聖旨ヲ體シ生死一如ノ日本魂ニ徹シテ自奮自勵愈々加ハルベキ苦難ニ堪ヘ進ンデ一切ノ行動ヲ戰鬪ニ集中シ一日ヲシテ數日ニ値セシメ以テ國難打開ノ功臣タルノ光榮ヲ保持セラレムコトヲ要請ス。

相与る勇

勝進

大詔ニ示シ給ハリタル聖旨ヲ體シ生死一如ノ日本魂ニ徹シテ自奮自勵愈々加ハルベキ苦難ニ堪ヘ進ンデ一切ノ行動ヲ戰鬪ニ集中シ一日ヲシテ數日ニ値セシメ以テ國難打開ノ功臣タルノ光榮ヲ保持セラレムコトヲ要請ス。



内閣告諭案

皇軍<sup>陸海</sup>一體ノ眞ニ感激スベキ御戰敵國ト官民不屈ノ協力敢闘ト  
 ニ拘ラズ沖繩本島ノ守備遂ニ成ラズ。恐懼何物力之ニ加ヘン。  
 沖繩島ニ於ケル作戰ニ依リ敵ニ與ヘタル損害ハ甚大ニシテ當ニ敵ノ作  
 戦ニ阻礙ヲ來サシメタルノミナラズ其ノ精神上ニ與ヘタル打撃ヲ思ヘ  
 マ我ガ今後ノ戰争遂行ヲ有利ニ導キタルモノ誠ニ大ナルモノアリト謂  
 フベシ。

然リト雖モ今ヤ敵ノ空襲ハ愈々苛烈ナルベク漸ナル本土侵寇亦豫期セ  
 ザルヲ得ズ。正ニ元寇以來ノ國難ニシテ帝國ノ存亡ヲ決スルノ秋ナリ  
 皇土ハ御稜威ノ下我等祖先之ヲ繼リ我等之ヲ保衛シテ子孫ニ引續

十を強國ス。

今大連港ニ封鎖スルニ以テ海軍ノ威嚇ハ益々強ク我軍ノ進軍ハ益々速ク  
 朝鮮ノ北ハ益々我軍ノ管轄ニ歸スルニ至リ我軍ノ威嚇ハ益々強ク我軍ノ進軍ハ益々速ク  
 八天國ニ示シテ我軍ノ威嚇ハ益々強ク我軍ノ進軍ハ益々速ク



宣戰ニ示シ給ハリタル

本大臣ハ茲ニ全國民諸君ニ對シ帝國存亡ノ關頭ニ際シ更メテ

自勵相互奮勵意ヲ加ハルベク苦難ニ堪ヘシ一切ノ行動ヲ戰勝ノ

道ニ集中シ一日ヲシテ數日ニ値トシメ以テ團體打開ノ功臣タルノ光榮

ヲ保持セラレシコトヲ要望ス。

宣戰ニ示シ給ハリタル 皇旨ヲ繼シ生死一如ノ日本魂ニ徹シテ自奮

自勵相互奮勵意ヲ加ハルベク苦難ニ堪ヘシ一切ノ行動ヲ戰勝ノ 道ニ集中シ一日ヲシテ數日ニ値トシメ以テ團體打開ノ功臣タルノ光榮

ヲ保持セラレシコトヲ要望ス。

宣戰ニ示シ給ハリタル

本大臣ハ茲ニ全國民諸君ニ對シ帝國存亡ノ關頭ニ際シ更メテ

自勵相互奮勵意ヲ加ハルベク苦難ニ堪ヘシ一切ノ行動ヲ戰勝ノ

道ニ集中シ一日ヲシテ數日ニ値トシメ以テ團體打開ノ功臣タルノ光榮

ヲ保持セラレシコトヲ要望ス。

宣戰ニ示シ給ハリタル 皇旨ヲ繼シ生死一如ノ日本魂ニ徹シテ自奮

自勵相互奮勵意ヲ加ハルベク苦難ニ堪ヘシ一切ノ行動ヲ戰勝ノ 道ニ集中シ一日ヲシテ數日ニ値トシメ以テ團體打開ノ功臣タルノ光榮

ヲ保持セラレシコトヲ要望ス。

皇軍海陸空一體ノ威ニ感激スベキ事  
御稔威ノ下我等祖先之ヲ護ル我々等之ヲ保衛シテ子孫ニ引繼ガベキ事  
州ノ地ニシテ未ダ嘗ツテ外敵ノ侵寇ヲ許サズ・焉ゾ之ヲ敵ノ蹂躪ニ委

内閣告諭案

善言教諭

↑皇軍海陸空一體ノ威ニ感激スベキ事  
成ラズ・恐懼何物カ之ニ加ヘン・沖繩島ニ於ケル作戦ニ依リ敵ニ與ヘ  
タル損害ハ甚大ニシテ敵ノ作戦遂行ニ阻礙ヲ來サシメタルノ  
ミナラズ其ノ精神上ニ與ヘタル打撃ヲ思ハバ  
然リト雖モ  
今ヤ敵ノ空襲ハ愈々苛烈ナルベク新ナル本土侵寇亦豫期セザルヲ得  
ズ・正ニ元寇以來ノ國難ニシテ帝國ノ存亡ヲ決スルノ秋ナリ・  
御稔威ノ下我等祖先之ヲ護ル我々等之ヲ保衛シテ子孫ニ引繼ガベキ事  
州ノ地ニシテ未ダ嘗ツテ外敵ノ侵寇ヲ許サズ・焉ゾ之ヲ敵ノ蹂躪ニ委

何  
御稔威ノ下我等祖先之ヲ護ル我々等之ヲ保衛シテ子孫ニ引繼ガベキ事  
州ノ地ニシテ未ダ嘗ツテ外敵ノ侵寇ヲ許サズ・焉ゾ之ヲ敵ノ蹂躪ニ委

何  
御稔威ノ下我等祖先之ヲ護ル我々等之ヲ保衛シテ子孫ニ引繼ガベキ事  
州ノ地ニシテ未ダ嘗ツテ外敵ノ侵寇ヲ許サズ・焉ゾ之ヲ敵ノ蹂躪ニ委

諸君ニ至リテ。本國ノ存亡ニ関スル事。凡ソ國民ノ責ニ任スル所ナリ。故ニ本國ノ利益ヲ守ルニ。凡ソ國民ノ責ニ任スル所ナリ。故ニ本國ノ利益ヲ守ルニ。凡ソ國民ノ責ニ任スル所ナリ。故ニ本國ノ利益ヲ守ルニ。

一、國民ノ義務ニ任スル所ナリ。故ニ本國ノ利益ヲ守ルニ。凡ソ國民ノ責ニ任スル所ナリ。故ニ本國ノ利益ヲ守ルニ。凡ソ國民ノ責ニ任スル所ナリ。故ニ本國ノ利益ヲ守ルニ。

スルヲ得ンヤ、若シ此ノ志ニシテ。漢ハンカ我等何ヲ以テカ。強權ヲ對  
 ハ奉リ又祖先ニ謝スルヲ得ン。唯一國悉ク削テ。執ツテ起テ決死敢闘  
 體ヲ維持シ。皇土ヲ保衛シ。以テ皇國ヲ發達シ。奉ルコトアルノミ。

↑即チ吾等ハ。聖訓ヲ恪守シテ。神勇公ニ奉ジ。朝野相依リ。隣保相扶ケ。自  
 身勤直。禮儀紀律ヲ尙ヒ。節制ヲ重ジ。各々其ノ職務ニ勵精シテ。朝士氣  
 ナ昂揚シ。國家ノ總力ヲ擧ゲテ。敵ヲ千里ノ外ニ獲ヘ。既ニ作戰ノ  
 方。途定マルアリ。戰力充實ノ方策亦進。而シテ國民義務隊結成  
 セラレテ。國民ノ隊伍成ルアリ。政府ハ其ノ常ニ。開明スル所ノ所信ニ從  
 ツテ。果斷邁進スベシ。

↑本大臣ハ茲ニ。全國民諸君ニ對シ。帝國存亡ノ關鍵ニ際シ。更ノテ。宣戰